

中央高等技術専門校の概要

資料2

1 沿革

昭和55年 「埼玉県立中央高等職業訓練校」として開校
冷凍空調科、自動車整備科など、1年課程7科を設置
昭和61年 名称を「埼玉県立中央高等技術専門校」に改める
平成16年 全科2年課程に再編

2 特色、現状

- 1 就職率 100% 正社員就職率 98.6% (平成24~28年度修了生)
- 2 平成29年度入校生 応募・入校状況
応募者 137人(推薦 52人、一般 85人) 応募倍率 1.83倍
入校者 77人 入校率 103%
- 3 ものづくりの全国大会へ出場
若年者ものづくり競技大会:機械制御システム科、情報制御システム科
技能五輪全国大会 :空調システム科
- 4 2年次に全科インターンシップ・卒業制作を実施
- 5 技能検定など、関連の国家資格取得を支援
資格取得状況 373人 (平成28年度全科合計)

3 設置科目

◎総定員150人 各科定員25人(延べ定員50人)、入校時平均年齢 18.8歳

機械制御システム科

—実践的なものづくり技術者の育成を目指して—



(若年者ものづくり競技大会実技課題実習)

- ものづくりの基盤である機械加工と製図を基本から学びます。
- コンピュータによる立体図形をもとに、自動制御された工作機械を操作して、高精度な製品を造り上げます。
- 図面の理解、高精度な測定、加工の知識・技能を身に付け、技能検定試験に挑戦します。

空調システム科

—環境マインドを持った空調技術者の育成を目指して—



(新冷媒業務用エアコンの据付実習)

- エアコンを中心とした冷凍・空調機設備の据付工事・点検・修理の技術を身に付けます。
- 電気工事士、冷凍機械責任者、ボイラー技士などの国家資格に挑戦。合格率は全国平均を大きく上回っています。
- 地中熱利用ヒートポンプシステムや新冷媒技術など、環境問題解決に向けた知識と技術を身に付けます。

情報制御システム科

—電子回路から制御プログラミングまで対応できる技術者の育成を目指して—



(技能検定実技課題実習)

- デジタル家電・ハイブリッドカーなどに内蔵され、省エネルギーやエコロジーにも貢献しているコンピュータ制御技術(電子回路の設計製作やプログラミング・ITなど)について学びます。
- 修了後は、コンピュータ制御、デジタル家電修理、自動生産設備の設計・製造などの技術者としてコンピュータや電子回路に関する幅広い職種に就いています。

4 企業支援実績 (平成28年度)

- 1 在職者訓練(スキルアップ講習) 67講座 受講者659人
マシニングセンタ、フライス盤、CAD、シーケンス制御、各種国家試験受験対策 等
(メニュー型:21講座 330人、オーダーメイド型:25講座 207人、派遣型:21講座 122人)
- 2 技能検定の運営、会場提供等 20回 受検者等801人